

一 般 質 問 通 告 書

R 8 年 2 月 18 日

弥 富 市 議 会 議 長 殿

弥富市議会議員 平居 ゆかり

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	☐ 使用する ☒ 使用しない（どちらかにレ点を付ける） ※通告書提出後は、議長に許可を得ること（口頭可）。
-------	---

件 名	1, 高齢者の孤独・孤立防止対策を通じた自治会の位置づけについて
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	①市内における最近の高齢者の孤独死や認知症の方の事故をどう問題視しているか。 ②緊急通報システム事業について、費用負担対象者の人数に対する導入実績の割合とその評価は。 ③実際に委託業者の警備員が駆けつけた事例は。 ④認知症高齢者等見守りシール交付事業について、対象者に対する配布実績の割合は。 ⑤実際に活用された実績の内容について。 ⑥離れた家族等へ周知の対策は。 ⑦「隠れた独居高齢者」や「支援拒否型の高齢者」の把握は。 ⑧民生委員達の各個人負担は増えていると判断しているか。 ⑨行政はどこまで踏み込めると考えるか。 ⑩行政支援は、地域力の上に重なることで、より効果を発揮するものと考えるが、本市の見解はどうか。 ⑪「孤独・孤立対策強化月間」の本市の具体的な啓発活動内容は。 ⑫孤独・孤立対策推進法における本市の役割について認識を問う。 ⑬市民しかできないことの価値を、尊重していく考えはあるか。 ⑭地域共生社会の基盤として自治会の位置づけを問う。 ⑮発信の在り方を工夫していく提案についての見解と、関連し、R6 年 6 月定例会の一般質問における回答があった部分の進捗状況を問う。 ⑯高齢者の孤独・孤立防止対策を通じた自治会の位置づけについて市長総括を。
答 弁 者	担当部課長・市長

件 名	２，高齢者の孤独・孤立予防の観点からの外出及び社会参加環境の整備について
質問項目 及び要旨 (具体的内容)	①高齢者の孤立防止に役立っていると実感している事業や支援は。 ②高齢者ボランティアにおける情報不足や心理的ハードルの課題に対する考えと対策は。 ③「チョイソコやとみ」の社会実験について、不成立件数が多いことにより、逆に外出を抑える、引きこもらせてしまっているような状況にはなっていないか。 ④公共交通と合わせてウォーカブルな環境整備を進めていく方向性について、本市の認識と考え方を問う。 ⑤５月以降の施設利用料の値上げにより、利用の見通しに何か変化や問題はないか。 ⑥十四山の福祉センターのカラオケセットが配信型でないため、利用人数が減少しているとの声があるが把握しているか。 ⑦カラオケが利用できる施設は何施設あり、そのうち配信型カラオケを導入している施設はどこか。 ⑧平等に配信型のものに更新をするつもりはないか。 ⑨「弥富市公共施設再配置計画」における、隣接する三ツ又池公園との連携強化の具体的な取り組みは。 ⑩高齢者の孤独・孤立予防の観点からの外出及び社会参加環境の整備について市長総括を。
答 弁 者	担当部課長・市長